

第 76 回愛鳥週間

令和 4 年度 野生生物保護功勞者表彰

受 賞 者 一 覧

1. 公益財団法人 日本鳥類保護連盟 総裁賞 (1 件)

都道府県	被表彰者	功績概要
北海道	ふじまき ゆうぞう 藤巻 裕蔵	<p>1) 長年にわたるエゾライチョウの生態研究、北海道における鳥類の分布に関する研究の成果を学術誌に発表してきたほか、国内外における希少鳥類の保護・保全のための調査を実施してきた。</p> <p>2) エゾライチョウの研究では、飼育下と自然条件下においてこの種の繁殖生態、成長、食性、生息環境、生息数調査法、齢査定法について研究し、生息数が急減しているこの種の保護管理システムを構築するための基礎づくりをした。さらに韓国、ロシア沿海地方、サハリンでも調査を実施し、北海道における研究成果と比較し、生息数減少の原因をさぐった。</p> <p>3) 希少鳥類の研究では、ロシア沿海地方でナベヅル、コウノトリ、シマフクロウ、ワシミミズク、サハ共和国でオオハクチョウの生息状況、繁殖生態についてロシアの研究者と共同調査を行った。繁殖地で得られた知見は、日本におけるこれらの種の保護対策を立てる上でも役立った。エゾライチョウの研究に基づいて保護管理の基礎をつくったこと、日本とロシアの鳥類研究者の交流を推進したことにより、2000年6月に第9回山階芳麿賞を受賞した。</p> <p>4) 研究活動以外では、自然環境保全審議会委員、北海道自然環境保全審議会委員などを勤め、わが国の自然環境の保全に貢献した。また、野生動物の専門家として、日ロ、日米、日豪、日韓間の渡り鳥等保護会議に出席したり、環境省の希少野生動物保護増殖検討委員会(シマフクロウ、タンチョウ、オジロワシ・オオワシ、エトピリカ、ライチョウの各分科会)の委員を務め、渡り鳥や絶滅のおそれのある鳥類の保護に貢献した。</p> <p>5) 1998年以來、「北海道猛禽類研究会」を主宰し、北海道開発局、北海道、北海道電力などの各種事業における環境調査結果に基づいて希少猛禽類の生態を明らかにし、事業地に生息する希少猛禽類の保護と生息環境の保全に役立った。</p>

2. 環境大臣賞 (6 件)

都道府県	被表彰者	功績概要
群馬県	<small>いづか</small> まさひろ 飯塚 政弘	1) 館林市共催による「館林市民探鳥会」を主催し、館林市及びその周辺市町村民に対する鳥類の保護や自然環境の保全・保護の啓蒙に努めている。 2) 県の「愛鳥モデル校」巡回指導員としてこれまでの経験を活かし、担当地区の小学校での野外活動や講演等を行っている。 3) 群馬県からの委託業務「鳥類生息密度調査」、「ガンカモ類生息調査」に協力している。
石川県	<small>にしや</small> かおる 西屋 馨	1) トキの生息環境を調査研究するため中国陝西省野生動植物保護協会との交流やトキ保護を題材とした環境教育に尽力した。 2) いしかわ自然学校インストラクター及び石川県希少種保全推進員として、本州で唯一生息するイカリモンハンミョウの保護や、生息地である砂浜海岸の適正な保全のため生息地の巡視等に努めている。 3) これまで得られた調査結果や、いしかわ自然学校インストラクター及び石川県希少種保全推進員の経験を活かし、県内の小学校や公民館で講演・観察会を行った。
長野県	<small>かたやま</small> いそお 片山 磯雄	1) 1974 年より長野県北部の山地のイヌワシ生息分布を調査し、日本イヌワシ研究会の設立時より「全国イヌワシ生息・繁殖状況調査」を続け、長野県内におけるイヌワシの繁殖成功率等に係るとりまとめ結果を「長野県北部における1970 年代後半と近年のイヌワシの繁殖状況と生息環境の変化」として日本イヌワシ研究会誌に掲載した。 2) 2005 年に長野イヌワシ研究会を設立し代表として、会員の指導をはじめ、イヌワシの生態保護について長野県や地方事務所、森林管理署、経営者協会、高校等で講演を行ってきた。 3) イヌワシの営巣地付近での工事計画等への保護対策の提言や、イヌワシの生息状況、狩場や営巣地の利用状況など情報提供を行い、長年にわたる行政機関への協力を行ってきた。

都道府県	被表彰者	功績概要
京都府	たかくわ すずむ 高桑 進	1) 「京女の森」の歴史、地質、動植物など総合的な環境調査を実施するほか、安曇川源流域にある未調査であった京都市内の天然林について5年間かけて総合的な調査を行った。 2) 大学間里山交流会を立ち上げて各地の里山活動の交流を進めるほか、公益財団法人日本鳥類保護連盟京都の支部長として野鳥観察を行っている。 3) 京都市伝統文化の森推進協議会の森林整備・景観保全委員会の委員として、京都市東山にある東山の森の保全活動や、嵐山国有林での環境教育活動を実施している。
大阪府	ひら ぐんじ 平 軍二	1) 鳥獣保護員として大阪府北部の鳥獣保護や自然環境保全に務め、毎年ガンカモ調査では吹田市のため池調査を担当している。 2) 日本野鳥の会大阪支部、吹田野鳥の会、すいた市民環境会議内で探鳥会・野鳥調査を実施し、吹田市周辺の野生生物保護・保全に関する普及啓発に努めている。 3) 調査結果をベースに希少植物の保全や吹田市内の植物、野鳥について絶滅危惧レベルをランク付けし、「レッドリストすいた2021」として公表した。
鹿児島県	いずみしりつ 出水市立 かくしょうがくえん 鶴荘学園	1) 特設教科「ツル科」の授業でツルの数を計測する調査に取り組み、計測したツルの総羽数から出水市が活動の餌の量を調節し、農作物への食害を減らしてツルと共生する環境づくりを目指している。羽数調査データは各研究機関が重要な資料として利用している。 2) 家族構成分散調査ではツルたちが家族単位でどこに飛んで行き、どのような環境に多く集まっているのか、またその年に生まれた幼鳥の数を明らかにし、今後の渡来数がどのように変化するかを検証している。 3) 鹿児島県ツル保護会、環境省出水自然保護官事務所、出水市立高尾野中学校などと協働で活動に取り組んでいる。

3. 文部科学大臣賞（2件）

都道府県	被表彰者	功績概要
鹿児島県	いさしりつ 伊佐市立 なんえいしょうがっこう 南永小学校	<ol style="list-style-type: none"> 1) 講師を招聘して水質調査や生物調査を学び、白川川の美しい景観及び野生生物を守るためにはどのような取り組みができるか計画を立て、実践している。地域の方々とともに環境保全及び生物保護について取り組んでいる。 2) 学習の成果として発表会でのスライド発表や県庁でのポスター発表、市報や新聞社等への投稿等を行い、白川川周辺に生息する野生生物保護について情報を発信している。また調査の結果を毎年「身近な水質環境の全国一斉調査」に報告するとともに、地域に向けた白川川の更なる美化活動を呼びかけた。 3) 国土交通省九州整備局川内川河川事務所、鹿児島県企画部地域政策課、全国水質環境マップ実行委員会の協力を得ながら活動に取り組んでいる。
沖縄県	みやこじましりつ 宮古島市立 いらぶじましょうがっこう 伊良部島小学校 いらぶじまちゅうがっこう 伊良部島中学校	<ol style="list-style-type: none"> 1) 10月をサシバ保護月間として、「サシバ保護集会」、「サシバ飛来数調査」、「サシバ俳句」、「サシバ保護の誓い」、「サシバ保護広報パレードへの参加」等、沖縄県自然保護課、宮古島市環境衛生課、公益財団法人日本自然保護協会、宮古野鳥の会、栃木県市貝町立小貝小学校などと連携したサシバ保護の取り組みを続けている。 2) 総合的な学習の時間を中心に地域のクリーン活動など、サシバの中継地としての環境を守る取り組みを積極的に行っている。 3) サシバの中継地として環境保全を呼びかける看板の制作と設置、サシバカルタの作成を行った。また、国際サシバサミット 2021 宮古島大会に参加し、これまでのサシバ保護活動の報告と地域のサシバの物語を英語で発表するなど啓発活動を行った。

4. 林野庁長官感謝状（3件）

都道府県	被表彰者	功績概要
群馬県	ふるみ みつお 古見 満雄	1) 県自然保護指導員や国有林野保護監視員を務め、希少種や外来種の侵入などに対する巡視活動、玉原地区の国有林保護監視活動など長年にわたり尽力した。 2) 玉原ダム工事の土捨て場の緑化や外来植物の駆除、湿原でのシカ食害防止ネットの設置などの活動を行っている。 3) 月例観察会を開き、玉原の見所を案内し自然の大切さを啓発している。市文化祭、環境フォーラムぬまた、県立自然史博物館の特別展などに参加し活動成果を発表している。また、尾瀬高等学校自然環境科外部講師として26年間人材育成にも尽力している。
静岡県	かなざわ しゅんじろう 金澤 俊二郎	1) 1995年から静岡県鳥獣保護管理員として違法な捕獲等の取り締り、鳥獣の保護、鳥獣保護管理に関する普及啓発、狩猟者への安全指導等の業務に精励し、鳥獣保護行政の推進に貢献を果たしている。 2) 2018年からカモシカ保護管理検討会委員、カワウ食害防止対策検討会委員、環境審議会特別委員として、捕獲の現場から貴重な提言を行っている。 3) 県猟友会会長として、豚熱防疫対策としての野生イノシシ捕獲や経口ワクチンの散布の実施等を主導し、豚熱ウイルスの拡散防止に寄与し、養豚農場への豚熱感染防止に貢献した。 4) 環境省制作の狩猟等事故防止映像への協力や不法投棄の未然防止及び早期発見等の取り組みに尽力した。
栃木県	もおかエコの会 ^{かい}	1) 市内で環境保全活動を実施している「もおか環境パートナーシップ会議」と連携して、ビオトープ池や里山林の整備など野生生物の棲み良い環境作りに努めている。 2) 小中学校への出前講座の実施やイベントへのブース出展、企業と連携した工場見学と環境学習会の開催など様々な場所で積極的に活動を行っている。 3) 会員の半数以上が栃木県から委嘱された「地球温暖化防止活動推進委員」となっており、栃木県の環境事業を把握することができている。市環境課が実施した「真岡市動植物実態調査」への協力も行い、自然環境の把握に尽力した。

5. 公益財団法人 日本鳥類保護連盟会長賞 (3 件)

都道府県	被表彰者	功績概要
埼玉県	みつものぶゆき 三森 信行	<ol style="list-style-type: none"> 1) 2007 年から埼玉県の「傷病野生鳥獣保護治療事業」において「傷病野生鳥獣保護診療機関」として、傷病野生鳥獣の保護治療業務に携わり環境保全に貢献している。 2) 1980 年 2 月に上福岡市(現ふじみ野市)に診療拠点を構え、42 年以上にわたり専門の知識、技術、経験を活かして鳥獣保護に活躍するとともに、県民の野生鳥獣保護思想の普及啓発に尽力している。
新潟県	ぬのかわ こういち 布川 耕市	<ol style="list-style-type: none"> 1) 県内各地で行われる探鳥会や講演の講師を務め、自然や野鳥保護思想を広めるための貢献や、講演等を通じて森林生態系の理解や保全につながる普及啓発活動に尽力した。 2) イヌワシやコアジサシなど希少鳥類の生態調査と保全対策を担当し、事業関係者や保護対策案等の助言をした。また各種希少鳥類の生息分布調査の保護資料の収集と整備に貢献した。 3) 国土交通省飯豊山系砂防事務所環境アドバイザーとして胎内川や荒川流域の保全管理事業に関わり、野生鳥類保護の観点から適切な助言を行った。
滋賀県	くさつしりつ 草津市立 ときわしょうがっこう 常盤小学校	<ol style="list-style-type: none"> 1) 県の愛鳥モデル校として総合的な学習の時間を中心に各教科と連携して、野鳥などの生物に関する学習や野鳥の会の専門家による愛鳥講演会を開催し、水鳥の種類や特徴などを学習している。これらの活動を通じて人と環境にやさしいまちづくりに貢献できる児童の育成に取り組んでいる。 2) 学校周辺の水路観察を行い、地域の自然に生息する生き物や草木について専門家から教えていただきながら地域の環境について学んでいる。 3) ニゴロブナの稚魚の放流・救出、水田に生息する魚などの観察を地域の方の支援で取り組み、自然を生かした環境にやさしい米づくりについて学んでいる。

6. 環境省自然環境局長賞（6件）

都道府県	被表彰者	功績概要
北海道	たかはし よういち 高橋 洋一	<ol style="list-style-type: none"> 1) 北海道タンチョウ給餌人として道内に生息する絶滅危惧種であるタンチョウの保護のため、給餌事業に従事した。 2) 道内に生息する絶滅危惧種であるタンチョウの保護のため、生息活動の保全活動を行っている。 3) 道内のタンチョウの越冬分布・規模の把握等を目的としたタンチョウ越冬分布調査に協力し、生息地や個体数の記録を行っている。
北海道	ふかせ ゆきのぶ 深瀬 之信	<ol style="list-style-type: none"> 1) 鳥獣保護監視員として、鳥獣の保護や自然環境の適正な保全管理のため、森林内の巡視等に努めた。 2) 山野に入る住民等への指導など、野生鳥獣保護思想の普及啓発に貢献している。 3) 鳥獣保護監視員として実施している巡視活動中に発見した野生生物の生息状況について、詳細な報告を行っている。
京都府	にしむら かつゆき 西村 克之	<ol style="list-style-type: none"> 1) 日本野鳥の会京都支部の広報部部長や副支部長として、京都の自然保護活動や探鳥会を実施し、野鳥保護・自然保護の啓発を行った。 2) 京都府鳥類目録を作成した。 3) 京都府の受託で鳥獣保護区調査、ガンカモ調査を実施した。
富山県	いみずしりつ 射水市立 だいまんしょうがっこう 大門小学校	<ol style="list-style-type: none"> 1) 校区に流れている川に生息する希少価値の高い動植物の生態を学び、保全や普及活動につながる学習を計画的に行っている。 2) 学校創立以来、水槽やビオトープ等で地域住民、ビオトープアドバイザー、PTA、そして子どもたちと共に、生物等の観察、水質管理、生きものの世話、環境保全に取り組んでいる。平成19年度より校舎にビオトープを設置し、地下水を利用してバイカモ、トミヨ、タナゴ、蛍等の水生動植物を飼育している。 3) 総合的な学習の時間を通して、3年生が鮭の生態を学び、卵の孵化に挑戦している。孵化の様子を観察するとともに、放流するまで飼育を行っている。学習の結果をまとめ、全校に調査結果を発表している。

都道府県	被表彰者	功績概要
宮崎県	<small>しんとみちょうりつ</small> 新富町立 <small>とんだしょうがっこう</small> 富田小学校	1) アカウミガメについて調べたことをまとめ、学校ホームページに活動の様子をこまめに掲載している。 2) アカウミガメの産卵地である富田浜の環境保全のため、4年生が生態調査や年2回の清掃活動を実施している。 3) 外部講師に講話してもらい、学んだ内容を模造紙にまとめ、参観日に保護者に向けて発表している。
宮崎県	<small>のべおかしりつ</small> 延岡市立 <small>みかわうちしょうちゅうがっこう</small> 三川内小中学校	1) 昭和 53 年から三川内地区のホタルの個体数調査を行い、毎年ホタル発表会として保護者や地域住民に向けて1年間学んだことや実践してきたこと、今後の展望などについての発表を行っている。 2) ホタルの生息数の減少から、三川内河川清掃に取り組んでいる。校区内5地区に分かれ、保護者や地域の方と協力して河川清掃を行っている。 3) 平成 27 年から水槽でホタル養殖、令和元年にはプールでカワニナの養殖実験、令和2年から清流におけるカキ殻の影響調査を通して、ホタルを増やす取り組みを行っている。

7. 公益財団法人日本鳥類保護連盟会長褒状（1件）

◆個人

都道府県	被表彰者
滋賀県	<small>しばやま たかし</small> 柴山 隆史

8. 環境省自然環境局長感謝状

鳥獣保護管理員等（45件）

都道府県	被表彰者	都道府県	被表彰者	都道府県	被表彰者
北海道	おさな い たてあき 小山内 健昭	千葉県	うえくさ さぶろう 植草 三郎	長崎県	おおいわ やす お 大岩 保雄
北海道	さいとう よういちろう 齋藤 羊一郎	千葉県	ひらおか せいいちろう 平岡 誠一郎	長崎県	すえよし ただお 末吉 唯雄
北海道	はまたに よしあき 濱谷 義昭	神奈川県	あおき よしお 青木 好雄	長崎県	せがわ えいいち 瀬川 榮一
青森県	さいとう はるお 齋藤 晴男	神奈川県	いのうえ ゆうひこ 井上 雄彦	長崎県	まつもと ようじ 松本 洋二
岩手県	く ほ のりたか 久保 実孝	神奈川県	おおば たかゆき 大庭 高行	熊本県	たかみ かずひろ 高見 和広
岩手県	なつ いちろう 夏井 一郎	新潟県	ほんま しげる 本間 茂	熊本県	たじり はるゆき 田尻 治幸
岩手県	ふじさわ とみお 藤澤 富男	山梨県	おおしば たけよし 大柴 長栄	宮崎県	いわした てつ み 岩下 哲見
岩手県	むらき のりお 村木 典夫	長野県	とくだ えいし 常田 英士	宮崎県	おおはた ふみ お 大畑 文雄
山形県	うめかわ のぶ じ 梅川 信治	静岡県	いわほり ひろゆき 岩堀 博行	鹿児島県	いわもと しげみ 岩元 重巳
山形県	くろさか たかし 黒坂 孝	静岡県	かつまた さかえ 勝間田 榮		
山形県	まるやま しげる 丸山 茂	静岡県	ふじい たてひこ 藤井 建彦		
山形県	やまぐち とみ や 山口 富哉	静岡県	やまもと せい じ 山本 誠次		
山形県	よこやま たかはる 横山 隆春	愛知県	かとう のぶゆき 加藤 信行		
福島県	しょうじ じろう 庄司 二郎	京都府	おおが や そういち 大ヶ谷 宗一		
福島県	たかさき かつゆき 高崎 勝幸	島根県	ながさこ てつお 長廻 哲雄		
栃木県	ながの まさる 長野 勝	愛媛県	かん やすひろ 菅 保弘		
群馬県	すぎはら ゆういつ 杉原 勇逸	愛媛県	たかはし ひさお 高橋 寿夫		
千葉県	いしだ かずひさ 石田 一久	愛媛県	よしだ よしのり 吉田 美教		